



カーボンニュートラル燃料のバーナー燃焼性試験

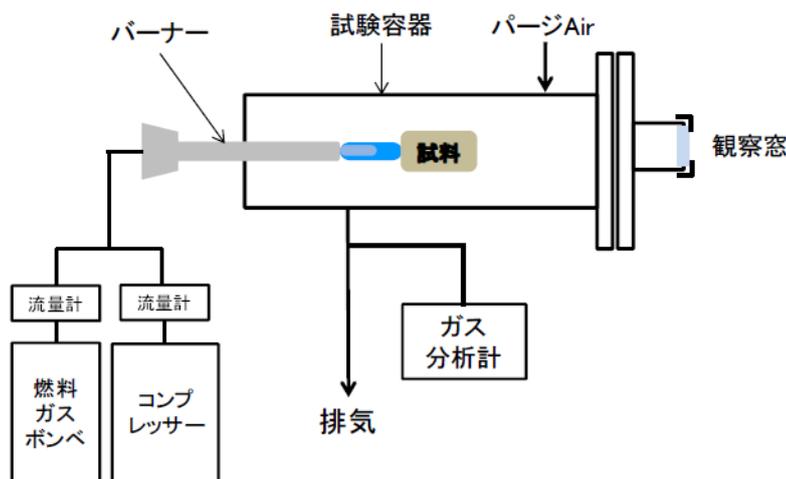
カーボンニュートラル燃料によるバーナー燃焼試験を行います。

試験の概要

ラボレベルの燃焼試験に使用される装置としては、管状炉等の電気加熱式装置が一般的ですが、当社では小型のバーナーを用いて燃焼試験を行うことができます。さらに、カーボンニュートラルな燃料を用いた試験も行えます。

試験装置の概要

試験容器内に試料を設置し、容器内にパージAirを供給しながらバーナーで燃焼させ、ガス分析計により排ガスの成分分析を行います。燃料ガスとしてプロパン、メタンのほか、プロパンとアンモニアの混合ガスが使用可能です。また、パージガスを窒素にすることで、熱分解試験を行うこともできます。観察窓から試験状況の写真撮影やビデオ撮影が行えます。



試験装置概略図

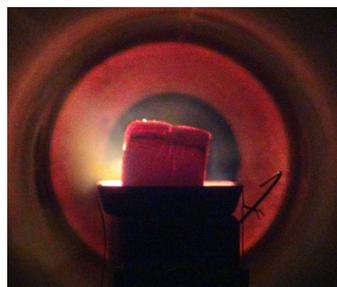
装置仕様	
試験容器	SUS304製、100A × 750mmL
バーナー容量	1.5kW
バーナー燃料	プロパン
	メタン
	プロパン+アンモニア (アンモニアカロリー比70%max)

試験例

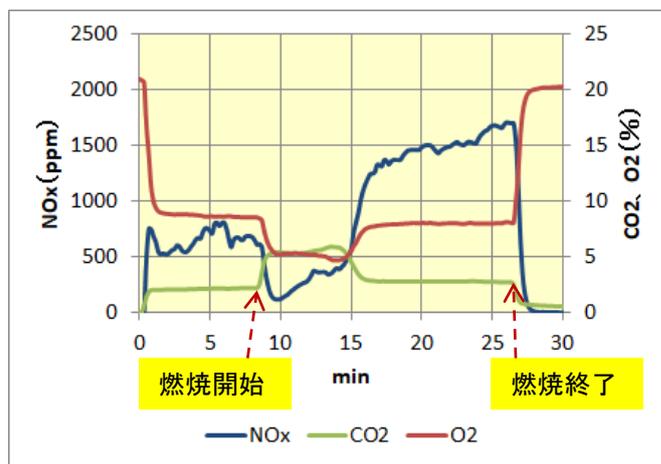
30mm角の木質試料をプロパン+アンモニアを燃料としたバーナーで燃焼させ、観察しながら排ガス分析を行うことで、燃焼状況を把握しながら試験を行うことができます。また、CO₂分析チャートより試料由来のCO₂発生量を推定することも可能です。



試験試料



燃焼状況



ガス分析チャート

適用試料および試験対応

プラスチック、ゴムなどの樹脂系試料およびバイオマス系試料を対象とします。粉末状試料は対象外となります。お客様の要望に合わせて試験装置をカスタマイズし、評価試験を行います。

※ 上記以外にも対応可能な試験がございます。お気軽にご相談ください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。